

平成 17 年 12 月 2 日

ジーエルサイエンス株式会社 非接触 I D 事業本部
中間決算説明会用資料
39 期上期売上実績報告と下期売上見込み

上期売上実績報告（平成 17 年 4 月～平成 17 年 9 月）

（単位：千円）

	上期売上実績	計 画（対比）	前期実績（対比）
合 計	2 7 2, 2 7 9	2 5 5, 0 0 0（106.8%）	2 1 1, 4 6 0（128.8%）
経常利益	3 0, 4 1 7	1 9, 4 0 0（156.8%）	1 1, 7 7 4（258.3%）
システム関連（メンテナンス関係含む）	1 1 4, 0 5 9	9 8, 5 0 0（115.8%）	9 8, 3 0 2（116.0%）
デバイス関連	1 5 2, 9 4 5	1 3 6, 0 0 0（112.5%）	1 0 9, 5 6 3（139.6%）
化学物質総合管理システム関連	5, 2 7 5	2 0, 5 0 0（ 4.7%）	3, 5 9 6（ 26.6%）

（注；営業振り替え分含む）

自動認識技術のマーケットとその状況《概要》

当事業本部が展開する事業は大きな括りとしては自動認識技術の応用製品開発とその販売であります。自動認識技術には磁気ストライプやバーコードのように使い捨ての媒体から非接触 I C を利用したもの、生体認証（顔パターン、アイリスパターン、指紋パターン、静脈パターンなど）などが有りますが、業界では一時、この優劣をめぐり間違った情報でユーザーを混乱させてしまった状況が有ったように思います。しかし、今日ではそれぞれの特徴を理解し利用がされています。特に非接触 I C、生体認証は磁気ストライプやバーコードに比べ高額であるというネックを乗り越え加速度的に需要を伸ばしております。

自動認識技術は現在、F A（物品管理、工程管理など）・流通管理（トレーサビリティ）・アクセスコントロール（個人の管理）・アミューズメント・遊戯施設関連・金融決済などの個人認証など多分野に渡り需要が有ります。また、現在話題となっている携帯（電話）端末との融合（特に非接触 I C の技術）は自動認識技術の市場を一気に盛り上げると予想されます。

当事業本部では上記に挙げた市場に対し全てに共通して需要が高いと考えられる非接触 I C 技術を中心に研究開発活動をしておりますが、現在では複数の認識技術を融合させた製品の開発やシステム構築も行い各業界の取引先と協力体制を構築し事業活動を展開しております。

上期営業報告

個人情報保護法施行やセキュリティニーズの高まりからシステム関連は入退室管理システム、カメラ監視システム共に導入件数を伸ばし計画を達成しました。また、利用される市場が多岐に渡るデバイス関連でも安定取引先の受注が堅調であることに加え 38 期に営業活動を行った大型案件（遊戯施設 2 案件）が立ち上がり好調に推移しました。

この結果、計画達成率 106.8%（前期比 128.8%）となりました。また、経常利益は過去最高の 30,417 千円を計上することができました。計画達成率は 156.8%、前期比 258.3%です。

セグメント別営業報告

・システム関連（メンテナンス関係含む）

38 期同様小口パッケージ案件で積上げてきた売上です。新設案件導入が 54 件、増設・移設案件導入が 21 件の実績となりました。

大手警備会社 2 社からの引き合いは活発であり通期売上計画を上期でクリアしている状況です。

また、施工会社・システムインテグレータ各取引会社からの受注も計画通りに推移しております。

38 期で開発した、FeliCa【㈱ソニーの登録商標です】仕様の製品〔LR06 および LR08 壁付け型リーダ〕にて構築した入退室管理システムは好調に導入件数、引き合い件数を増やしております。今後、各取引会社の要望に合わせ、機械警備連動・カメラ監視システム連動など、より付加価値の高いシステム構築の提案ができるべく準備を行っております。

・デバイス関連

継続安定取引先各社からの受注は計画を上回るペースで推移しております。これに加え前期で大型案件として取組んだ遊技施設向け機器組込みユニットやアミューズメント向けユニットが予想を超える受注が実現し前年実績を大きく上回ることができました。

さらに、付加価値製品である壁付け型リーダやUSBインターフェースリーダは大手電機メーカー並びに大手印刷会社からの大量受注が実現し下期以降に期待が持てるものとなりました。

・化学物質総合管理関連

今上期も苦戦しております。2物件の新規導入が有りましたが、低調です。下期で挽回できるよう努力しております。

下期予想

	下期売上予想	(通期予想)
合 計	343,000	(615,279)
経常利益	37,300	(67,717)
システム関連(メンテナンス関係含む)	121,500	(235,559)
デバイス関連	192,000	(344,945)
化学物質総合管理システム関連	29,500	(34,775)

・下期予想

上期に引き続きシステム関連、デバイス関連の好調が維持されると予想されます。このため、頭初の通期売上計画を570,000千円から615,279千円に上方修正いたしました。経常利益も同様に54,000千円から67,717千円に引上げております。

11月21日現在の受注確定情報は合計524,513千円です。また、受注書待機と納期調整分の売上数字が54,000千円有ります。(合計:578,513千円)これにより今期売上計画は充分達成できるものと考えております。

・システム関連予想の根拠

下期ではFeliCaカードを利用した入退室管理システムの引き合いが益々盛んになって来ることが予想されます。現状でも警備会社などから大型案件含め15提案の引き合いに対応中です。

また、下期より〔個人パソコン用ログイン管理システム(製品名;simLocker-G)〕や〔鍵管理ボックスのシステム化(通信で遠隔管理を行う)〕の営業が本格的に開始されます。

〔ログイン管理システム(製品名;simLocker-G)〕は個人情報保護法関連製品としてまさにタイムリーな製品であります。大きな期待を込めて営業活動を展開できます。

・デバイス関連予想の根拠

下期の計画を上方修正し40,000千円積み増しましたが、10月、11月、12月で遊技施設向けリーダライタユニット(機器組込みタイプ)の大量受注が有りました。これにより11月現在の受注確定で通期予想をクリアしております。

その他に・・・

- ・継続安定取引先からの新規案件の開発依頼が増えていること
- ・今期に営業販促を行い来期に繋げるための活動をしていた壁付けリーダ各種のインターフェースカスタマイズ仕様のものが下期の後半に前倒し受注が可能になること
- ・高付加価値製品として位置づけられる『mifare』『FeliCa』『hita』『i-code』の各ケース付きリーダ、USBカードリーダ(hitag、mifare、i-code)、鍵管理ボックス(FeliCa対応)および各種タグ(カード形状等)関係が予想以上の動きを見せていることなどなど・・・

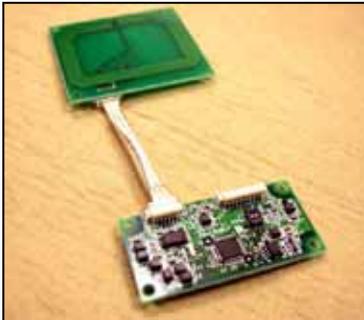
明るい材料が多く有ります。これら全てが来期に繋がる題材となりますので来期の展開も大いに期待できます。

・化学物質総合管理関連予想の根拠

取引先の状況を精査しておりますが、案件としての引き合いは多く有るものの実受注に結び付かないのが実情であるとのことです。今期立上げは困難な状況であります。引き続き努力して行きます。

デバイス関連の製品群

【機器組み込み型 各種リーダライタユニットの主な組み込み先】



[ISO-14443 対応 mifare] ...タイムレコーダ機器に組み込み（現在 2 社）
 ...機械警備機器に組み込み（現在 4 社）
 ...アミューズメント機器に組み込み（現在 3 社）
 ...遊戯施設決済機器に組み込み（現在 1 社）
 ...プリンター機器に組み込み（現在 3 社）

[ISO-15693 対応 I-code] ...アミューズメント機器に組み込み（現在 2 社）
 ...遊戯施設機器に組み込み（現在 2 社）

[hitag 対応] ...機械警備機器組み込み（現在 8 社）
 ...タイムレコーダ機器組み込み（現在 1 社）

[ソニー社 FeliCa 対応] ...今後他分野での組み込みが期待できます。

【壁付け型リーダの主な導入先】




[ISO-14443 対応 mifare]
 [ISO-15693 対応 I-code]
 [hitag 対応]
 [ソニー社 FeliCa 対応]

・大手ビルシステム会社（現在 2 社）
 ・警備会社（現在 3 社）
 ・施工会社（現在 1 社）
 ・大手印刷会社（現在 2 社）
 ・大手電気メーカー（現在 2 社）

本製品は当事業本部のシステム構成品でもあります。

《LR08 仕様》

《LR06 仕様》

【USB 対応リーダの主な導入先】



[ISO-14443 対応 mifare]
 [ISO-15693 対応 I-code]
 [hitag、MIRO 対応]

・大手印刷会社（現在 3 社）
 ・ソフトウェア開発会社（現在 2 社）
 ・システム開発会社（現在 1 社）
 ・大手電気メーカー（現在 2 社）

本製品は〔simLocker-G〕としてシステム販売もします。

以上